



○ 山門

寺域のほぼ中央に建ち、訪れる人々の心を引き締めるかのように威風堂々とそびえる山門は、宝暦11年(1761)の建立で、市の重要文化財に指定されている。



○ 坐禅堂

昭和63年(1988)青少年の健全育成、さらに多くの人々に坐禅による精神修養と修行研修のために建立された本格的な坐禅道場である。

○ 文殊堂

平成6年(1994)中国仏教聖地五台山顕通寺御分身の文殊菩薩が御本尊。特に節分会には開運厄除・学業成就の参拝が多い。



○ 鐘樓堂

天和3年(1613)に建立以来、梵鐘は時を告げ、平安を願う莊厳な音色を周辺に響かせてきたが、文化財保存され、現梵鐘は平成に再铸造されたものである。



○ 藥師堂

平成6年(1994)歴代住職守護仏の黒薬師如来が本尊。身体健勝、病気平癒祈願に功德あり。

仁叟寺 四つの五百年

(当寺に伝わる五百年の歴史を有する寺宝)

- ①本堂
- ②本尊釈迦如来
- ③初代住職(開山)お手植の榧の木
- ④天宮の古戸戸

- 高崎市指定重要文化財
- 寺本欣正翁寄進建立

○ 十三重石宝塔

平成12年(2000)完成。高さ十七m重さ一六五トン。貴石、教典など収納。日本一大きさ。



仁叟寺のほとけさま

薬師如来像



文殊菩薩像



平成六年、中国五台山より初めて日本に渡り、文殊堂に奉迎安置。開運厄除・学業成就・家内安全・身体健勝・商売繁盛など功德があらたかなり。

真佛苑 (永代供養付独立墓地)

もうさみしくありません不安もありません。
仁叟寺が責任をもってお守りします。
このような方にご利用いただいております。



- 子供や後継者のおられない方。
- 単身・夫婦・親子・兄弟姉妹で埋葬を希望の方。
- 仕事やその他の事情で墓地を定めにくい方。
- 現在、お遺骨を保有されていて、すぐに納骨を希望されている方。
- 自分が初代でこれまでお寺との縁がなくこれから菩提寺を定めたい方。

一般墓地 (檀信徒専用墓地)



お寺と檀信徒は、大きな家族であり永きにわたり固い絆で結ばれた心の故郷であります。仁叟寺を菩提寺と定め、檀家となり、檀信徒の仲間と共に歩んで行く方々の墓地です。

当寺の環境良好な境内隣接地に整えてあり、3尺角から9尺角まで各種の大きさの墓地が用意されております。申し込み隨時受け付けます。

寺歴

名称は天祐山公田院仁叟寺といい宗派は曹洞宗、大本山は福井の永平寺・横浜の總持寺が両大本山である。

室町時代、足利義満將軍の応永元年(1394)から正長元年(1428)にかけて吉井町奥平公田に奥平城主奥平貞訓公により創建された。

その後、子孫の貞能公が寺領を寄進した大永2年(1522)に現在の高崎市吉井町神保に寺を移して本堂を再建し開基となり、渋川市中郷雙林寺四世の高僧、直翁裔正禪師を初代住職に請して開山された。